

テラツァフローア・ウッディ

取付説明書 — 300 (セラガンバツタイプ) —

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、「取付説明書」および同梱の「ウッド製品取扱いに際してのご注意とお願い」を施主様にお渡しください。
- テラツァシリーズは、住居のバルコニー部に施工していただく製品です。特にマンションやアパート等、集合住宅のバルコニー部へ施工をする際は、【集合住宅に施工する際のご注意】の内容には十分注意してください。

<施工上のご注意>

- 戸建て住宅の屋上階、立ち上がりのないバルコニーなど、風の影響を受けやすい場所では、風圧により本製品が飛散するおそれがありますので使用しないでください。使用する必要がある場合は、ご相談ください。
- 駐車場やガレージなど重量物が乗る場所には、使用しないでください。
- 本製品を敷設するとバルコニー最上部までの高さが1.1m未満となる場所では使用しないでください。
- モルタル仕上げ後および硬化後の平らな床面へ施工してください。
- 施工前には、バルコニー床面のゴミや砂を十分取り除いてください。防水面を傷つけ、雨漏りの原因となります。
- バルコニー床面上で本製品を切断する場合は、床面保護のためコンパネなどを敷いて行なってください。
- 本製品の上で、火を燃やしたり加熱したりすると、燃えたり変形したりしますので、絶対にしないでください。
- 本製品の敷設・切断の際は、指詰め・手指の切り傷・切り粉や粉塵による目の負傷に十分注意してください。
- 施工後は、必ず残材の清掃を行なってください。排水孔をつまらせたり、床面の防水層を傷つける原因になります。
- 床面の防水層を傷つけた場合は、必ず住宅会社・工務店・防水処理業者に連絡して補修してください。
- 当社標準品以外の使用および標準施工以外の施工に関しましては、保証いたしかねます。

<集合住宅に施工する際のご注意>

- 施工を始めてから手直しができないように、事前に調査や打合わせを十分に行なってください。
- 管理組合等へ事前に施工の了解をとり、エレベーターなどの公共設備を使用の際は十分注意してください。
- 避難用ハッチなどの上には絶対に施工しないでください。
- バルコニー部は私的所有スペースではありませんので床や壁に孔をあけないようご注意ください。
- 施主様立会いのもとで施工を行ない、施工中の部材・部品の落下には十分ご注意ください。

梱包明細表

① ウッディ300

名 称	員 数
ウッディ300	10
取付説明書	1
ウッド製品取扱説明書	1

② ベースマット(オプション)

名 称	員 数
ベースマット	10

③ 碎石見切材(オプション)

名 称	員 数
碎石見切材	10

④ 側溝サポート材(オプション)

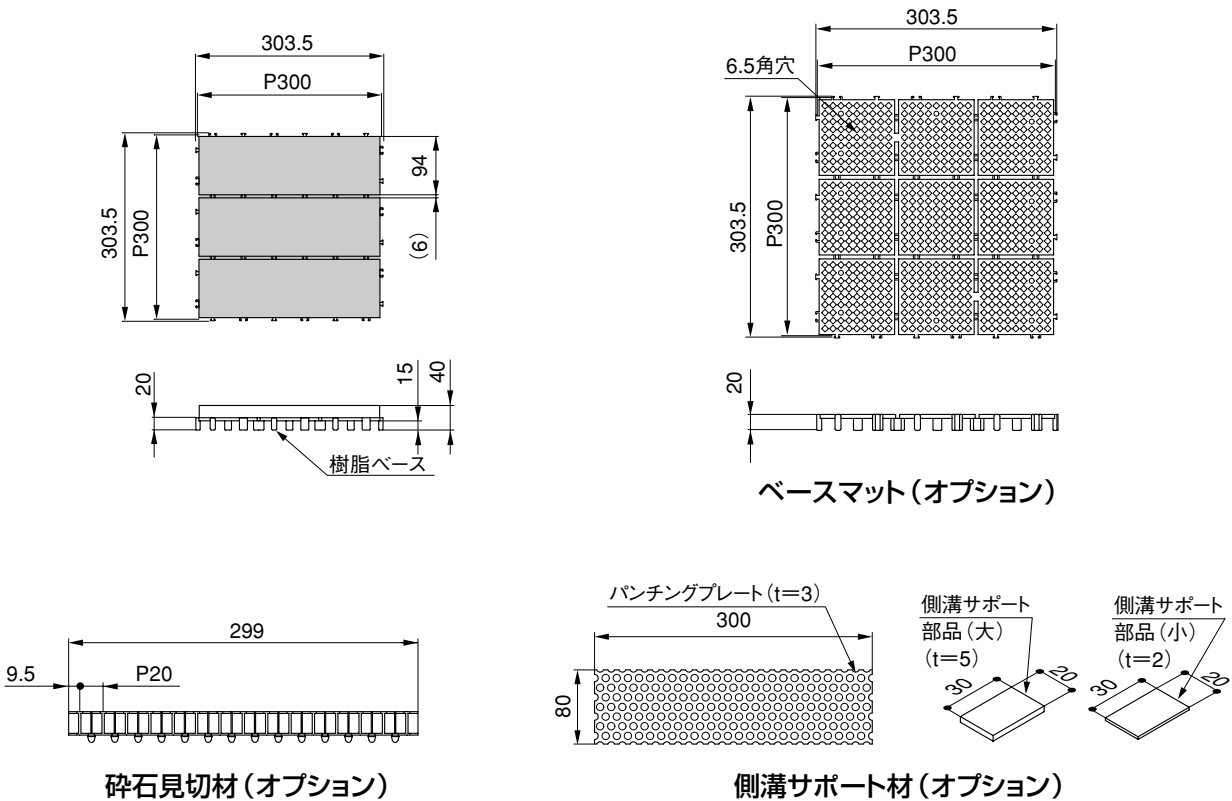
名 称	員 数
パンチングプレート	3
側溝サポート部品 (大)	60
側溝サポート部品 (小)	60

⑤ ブリックチップ(オプション)

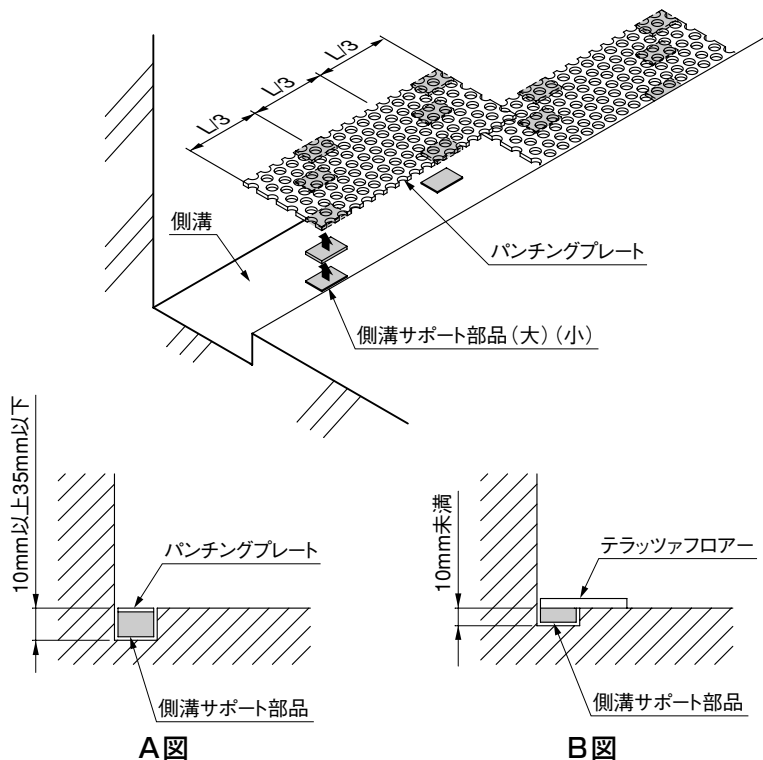
名 称	員 数
カラーブリック	各10kg/袋
グレーブリック	
クッキーブリック	
ストーンブリック	

1. 基本寸法

ウッディ300



2. 側溝サポート材(オプション)の取付け

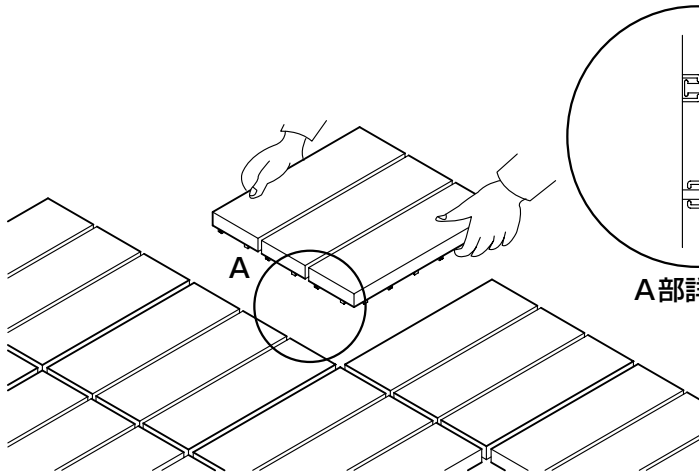


- 1枚のパンチングプレートに4ヶ所、側溝の深さに合うように側溝サポート部品(大)(小)を貼り付けて側溝へはめ込んでください。

<注意>

- 《側溝の深さが10mm以上35mm以下の場合》
パンチングプレートへ側溝サポート部品(大)、(小)を必要枚数貼り付けてください。(A図参照)
- 《側溝の深さが10mm未満の場合》
テラツァフロアー裏面へ直接側溝サポート部品(大)、(小)を必要枚数貼り付けてください。(B図参照)
- テラツァトレリスを同時に施工される際は、トレリス取付金具を逃がすための切り欠きが必要となります。

3. フロアーの施工方法

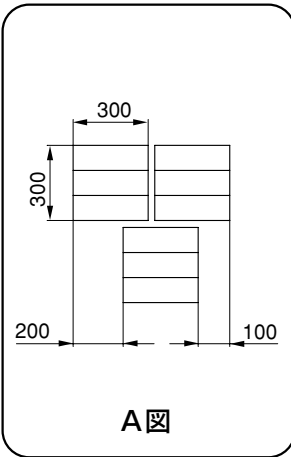


A部詳細図

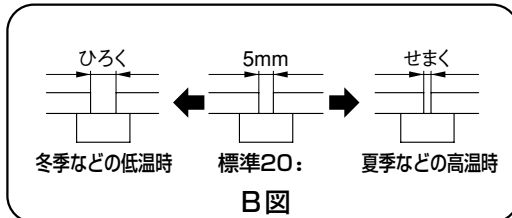
- ① ウッディ300のツメとツメどうしを引っ掛けあわせて連結してください。
- ② ウッディ端部のツメはニッパ等で切断してください。(納まりが美しく見えます。)

<注意>

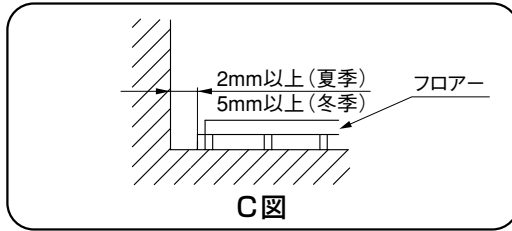
- ウッディは100mmきざみですらして取付けることができます。(A図参照)
- 温度変化による製品の伸縮を吸収するため、製品どうしの連結部に隙間をあけて施工してください。(B図参照)
- 温度変化による製品の伸縮を吸収するため、壁と製品の間隙をあけて施工してください。(C図参照)
- ウッディの脚部をニッパ等で切断することで15mmまでの床面の不陸(凹凸)に対応できます。



A図



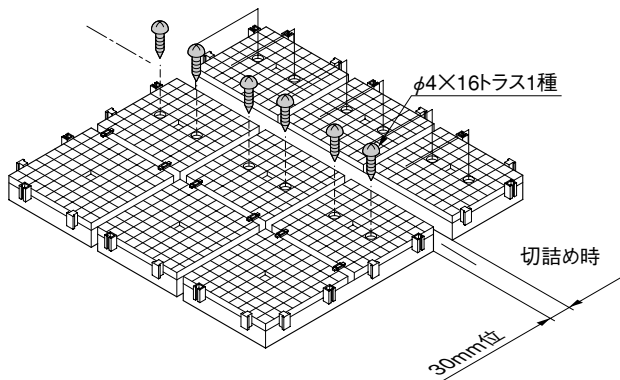
B図



C図

4. フロアーの切詰め方法

<ウッディ300(裏面)>

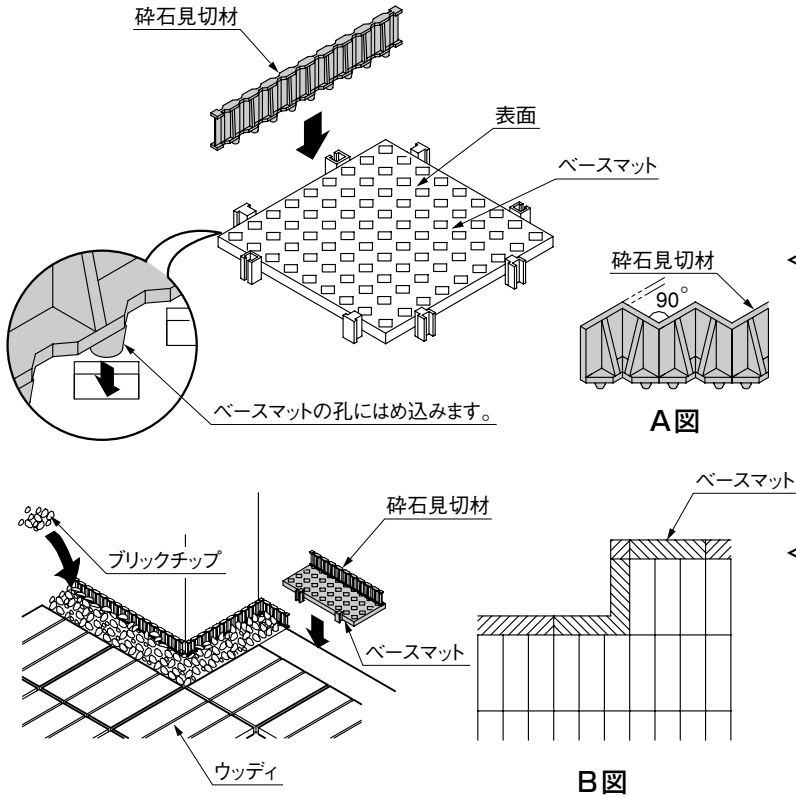


<注意>

- ウッディ300は現場の納まりに合わせて縦・横・斜めに切詰めが可能です。
- 切詰めした場合はその辺での連結はできなくなります。
- ① ウッディ300を切詰めの際は、必ず切詰め側のネジ(φ4×16トラス1種ネジ)を取外し、切り口面より30mm位入った位置へ取付け直してください。

5. フロアの演出方法

5-1 碎石見切材(オプション)とベースマット(オプション)による演出方法



- ① ベースマットおよび碎石見切材は必要なサイズ・形状に切断し(B図参照)碎石見切材の突起部をベースマット表面の孔へはめ込んでください。

<注意>

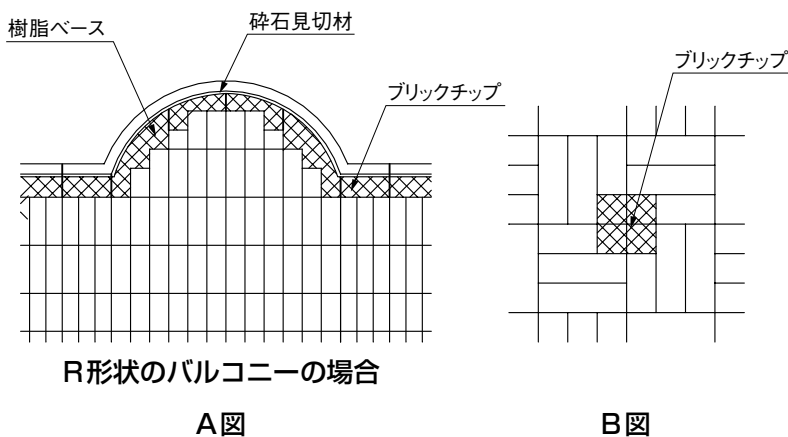
- 碎石見切材は20mmピッチで90°に曲げられますので必要な形状にしてはめ込んでください。(A図参照)

- ② 碎石見切材をはめたベースマットを各フロアにはめ込み、ブリックチップ(オプション碎石)を入れてください。

<注意>

- ブリックチップ1袋(10kg)はベースマット4枚分を敷きつめられます。

5-2 ウッディ300の床材加工による演出方法



- ① ウッディ300の床材と、樹脂ベースをバルコニーの形状にあわせてそれぞれ切断し、碎石見切材をはめ込みブリックチップ(オプション碎石)を敷いてください。(A図参照)

- ② ウッディ300の床材を部分切断したあと取外し、ブリックチップ(オプション碎石)を敷いてください。(B図参照)

施主様へ

- 雨や散水のあとや雪・霧・霜等で製品表面が濡れている場合など、たいへん表面が滑りやすくなりますので、歩行には十分に注意してください。
- 夏季の高温下では製品表面が熱くなり、素足で歩くとやけどするおそれがありますので、履き物の着用をお願いいたします。
- 本製品の上で、火を燃やしたり加熱したりすると、燃えたり変形したりしますので、絶対にしないでください。
- 本製品が汚れた時は、雑巾での水拭きまたはスポンジやブラシで水洗いをしてください。水で落ちない場合は中性洗剤を使い、洗浄後は洗剤をしっかり洗い流してください。なお「ウッディ」の場合は必ず乾拭きをしてください。表面のシミの原因になります。
- 本製品の隙間にゴミやほこりが詰まった時は、掃除機で吸い取ってください。
- 「タイル」が割れたり、破損した場合は、破損部位のユニットを直ちに交換してください。
- 本製品を廃棄する時は、専門の処理業者に依頼してください。

取説コード

E084

 LAD820516B
 200708B_1042
 201108C_1042